



清荒神清澄寺

Kiyoshikôjin

境内マップ

山門をはいると正面に清澄寺本堂が見えます。
また樹齢400年の銀杏の巨木を背後に、
石畳の坂道と石段をのぼりつめたところに清荒神の天堂(拝殿)があります。
手水舎で心身を潔め、参拝をはじめてください。
順路は、まず拝殿を拝み、順次諸堂にお詣りしていただきます。
山腹につけられた石段の途中にある宝稲荷社を経て、
本堂へと至ります。



交通案内

- ◆阪急電車ご利用の方は
宝塚線・清荒神駅下車徒歩約15分
(タクシー利用の際は宝塚駅下車)
- ◆JRご利用の方は
宝塚線・宝塚駅下車タクシー約10分
- ◆バスご利用の方は
日・祝日のみ JR 宝塚駅より清荒神駐車場
まで路線バスが運行

- ◆自家用車の方は
国道176号線
宝塚歌劇場前交差点北約2km
清荒神無料駐車場をご利用下さい
(年末年始はできるだけ電車・バスをご利用下さい)

〒665-0837
兵庫県宝塚市米谷清シ1番地
TEL 0797-86-6641
FAX 0797-86-6660
ホームページ [清荒神](#) 検索

清荒神 清澄寺



火の神・台所の神 荒神さん



清荒神清澄寺は、創建 1100 余年の真言宗の大本山です。

人々の暮らしに欠かせない火は万物を浄化する神聖なものとして、古来より尊ばれてきました。火を扱う、かまど(台所)は家庭・会社の中心でかまど(台所)が賑わえば、家庭・会社が繁栄するといわれています。荒神信仰は家内安全、商売繁昌、厄除開運などの現世利益をもたらします。

ようこそお詣りください。

また、山内には鉄斎美術館、史料館があり、宗教と美術を一体とした心の安らぎを与えています。



天堂(拝殿)

拝殿と浴油堂が棟つづきになる天堂では、毎日三座、平和と繁栄、愛と福德の祈りをこめたご祈禱が厳かに行われています。秘密の戒壇として何びとも入座は許されません。

護法堂(本社)と荒神影向の神

神殿造りの護法堂の周辺には、絵馬や祈願成就の千羽鶴が奉納され、美しい景観をつくっています。また清澄寺開創の際、社前の榊に荒神尊が降り立ったといわれる「荒神影向の榊」は今も篤い信仰をあつめています。

眼神祠(眼神様)と龍王堂

古くここに霊水が湧き出て、眼の悪い人たちが目を洗って病を癒したとされます。龍王堂はすべての生命を守る水神社で、古くから酒造・農業・火防の神として信仰をあつめています。

眷属堂(受付所)

三宝荒神王の眷属(従者)である布袋尊をお祀りし、ご祈禱の受付、三宝荒神王御尊影(おふだ)・御守・厄除開運火箸などを授与しています。

納札所と厄除火箸納所

一年のお礼を兼ねて、古いおふだ・吉兆などは納札所に、厄が終わった火箸は新しい火箸を添えて厄除火箸納所に納めてください。

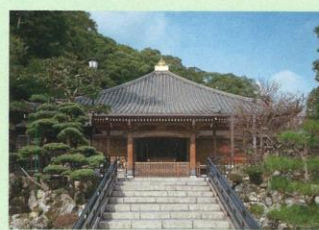
清荒神売店

お社、花立て、線香、ローソクなどの神祭具のほか、各種お土産や記念品を取り扱っております。



史料館

当山の歴史・信仰・行事の説明とともに、数多くの什物や所蔵品を順次展示します。広く荒神信仰の布教の場として、宗美一体の理念をご紹介します。



本堂

天堂とならぶ重要な建物。内部は密教寺院の伝統を継承したつくりで、大聖不動明王の秘法が毎日修行されています。堂前の寶頭盧尊者(十六羅漢の一人)像を撫でると病気が平癒するという民間信仰が今も生きています。



一願地蔵尊像(水かけ地蔵さん)

絶え間なくコンコンと湧く山の泉。巨大な唐金造りの地蔵尊の頭に、柄杓の水を高々とあげながら一心にひとつだけお願いすれば叶うといわれています。

修行大師像

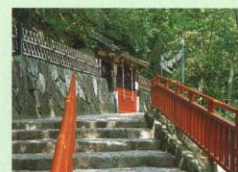
真言宗開祖弘法大師が錫杖と鉄鉢を手に諸国を巡歴行脚されたお姿です。

護牛神堂

本尊「牛頭天王」はインド祇園精舎(お釈迦さま後半生の住まい)の守護神であり、厄除けの神・恵方神として知られています。

宝稲荷社

明治時代、当時の忍随和上と光淨和上がある夜、同じ稲荷明神の夢をみたことからここに新しく祀られたといわれます。



その他

山門、鐘楼・鼓楼、経蔵、御供所、庫裡、百鍊堂、春光庵、講堂、収蔵庫、練行堂、清邦文化会館など40棟が、みどり濃い山峡のなかに建ちならび、諸堂には40体以上の神仏が祀られています。

鉄斎美術館

清澄寺所蔵の約2000点の富岡鉄斎作品を、年間数回企画展示し、鉄斎の偉大な芸術作品をより多くの方々に鑑賞していただくようにしています。

■行事案内

主要大祭暦

元日より3日間

1月 27・28日
2月 節分の日
4月 27・28日
12月 27・28日

新年祝禱三宝大祭

初三宝荒神大祭
荒神星祭・大福火
春季三宝荒神大祭
納三宝荒神大祭



年中行事

毎月 1日
毎月 21日
毎月 27・28日
1月 17日
2月 2回目の午の日
3月 11日
3月 15日
3月 彼岸の日
3月 21日
5月 8日
6月 15日
7月 13・14・15日
8月 24日
9月 彼岸の日
12月 冬至の日

月旦祭
弘法大師御影供
月並三宝例祭
阪神淡路大震災追悼の日
二の午祭
東日本大震災追悼の日
涅槃会
春季彼岸会
弘法大師正御影供
仏生会・花まつり
弘法大師降誕会
孟蘭盆会
地藏盆大施餓鬼会
秋季彼岸会
荒神星祭開白



新年祝禱三宝大祭 元日より3日間

お正月には非常に多くの善男善女が三宝荒神王のご利益を授かりに初詣に訪れ、ご参拝の人波が途切れることはありません。毎朝10時より拝殿にて世界の平和と五穀豊穡、除災招福をお祈りする大般若経転読法要が行われます。

春季三宝荒神大祭 4月27・28日

「春の大祭」は大変美しく賑やかなお祭として一般にもよく知られています。とくに28日の百味練供養は、当山法主が大阿(導師)となり、一山の僧侶が出仕し、山伏・伶人の奏楽を先頭に境内を練り、喜代寿女が三宝荒神王の御宝前に百種の蔬菜や果物を捧げ、世界の平和と五穀豊穡をお祈りする厳粛な儀式です。

弘法大師降誕会(青葉まつり) 6月15日

宗祖弘法大師空海のご生誕を祝う法要です。本堂にて理趣三昧法要を、大師の立像前にて読経と小法話をおこない、ご参詣の方々に供物を授与します。